

「ゼミナール入試」なるものに関する有志による勉強会

第3回 事例研究: 九大21cpとお茶大新フンボルト入試

林 篤裕

(名古屋工業大学 社会工学専攻
& アドミッションオフィス長)

e-mail: hayashi.atsuhiro@nitech.ac.jp

資料掲載URL: stat.web.nitech.ac.jp/haifu/Nagasaki2107/



本日の流れ

- I) 九州大学 21世紀プログラム
- II) お茶の水女子大学 新フンボルト入試
～ 外部評価委員の視点から ～
- III) 『「ゼミナール入試」なるもの』のまとめ

◆ 資料置き場URL

stat.web.nitech.ac.jp/haifu/Nagasaki2107/

- ◆ 第3回のための事前閲覧資料 (7月13日公開): 前提
- ◆ 本日の提示資料 (7月28日公開)
 - 関連URLsも

I) 九州大学 21世紀プログラム

- ◆ 高大接続特別部会 第7回('13.05)の資料を元に
 - 【参照】事前閲覧資料: 既にお目通し済みとの前提で

- ◆ 最新情報は以下サイトで: 21cpホームページ

U1 ● <https://www.21cp.kyushu-u.ac.jp/>

U2 ◆ 『中等教育資料』平成27(2015)年5月号に記事あり

- ◆ 21cpの紹介: 理念、修学の枠組み、卒業後の進路
 - ◆ 2017年度をもって募集を停止
- ◆ 選抜方法 <=== ◎本日のメイン

- ◆ AP、第1次・第2次選抜、評価体制・方法

- ◆ 初期は図書館も利用可能だった(移転に伴い困難に)

U3 【一読価値?】高大接続答申(2014(H26)年12月、中央教育審議会)

U4 大学入試のあり方に関する検討会議(2021年7月) 3



KYUSHU UNIVERSITY 100th 2011
知の世紀を拓く

中教審高大接続特別部会(20分)
05/24/13 @文科省(東京)

九州大学 21世紀プログラムの紹介 ～ 選抜方法を中心に～

林 篤裕

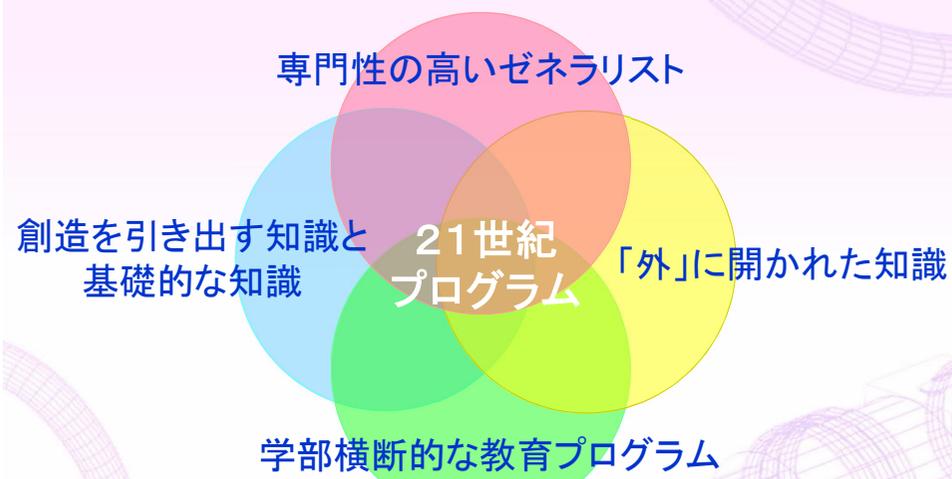
(九州大学 基幹教育院
& アドミッションセンター)

(21世紀プログラム主導教員)

e-mail: hayashi@artsci.kyushu-u.ac.jp



The 21st Century Program 理念



九州大学AO入試 2014年度AO入試

| | | | | | | | | | |
|------|-------|----|-----------------|--|--|--|--|--|--|
| 文学部 | | | | | | | | | |
| 教育学部 | ★ | 10 | | | | | | | |
| 法学部 | | | 09年で終了, 15年に再登場 | | | | | | |
| 経済学部 | | | | | | | | | |
| 理学部 | 物理 | 10 | | | | | | | |
| | 化学 | 15 | | | | | | | |
| | 地球惑星 | 8 | | | | | | | |
| | 数学 | 8 | | | | | | | |
| 医学部 | 生物 | 5 | | | | | | | |
| | 医学 | | | | | | | | |
| | 生命科学 | | | | | | | | |
| 医学部 | 看護 | 9 | | | | | | | |
| | 保健 | | | | | | | | |
| | 放射線検査 | 6 | | | | | | | |

| | | | | | | | | | |
|-------|--------|----|--------|--|--|--|--|--|--|
| 歯学部 | 8 | | | | | | | | |
| 薬学部 | 創薬科学 | | 12年で終了 | | | | | | |
| | 臨床薬学 | | | | | | | | |
| 工学部 | 環境設計 | 8 | | | | | | | |
| | 工業設計 | 15 | | | | | | | |
| | 画像設計 | 18 | | | | | | | |
| 芸術工学部 | 音響設計 | 5 | | | | | | | |
| | 芸術情報設計 | 8 | | | | | | | |
| | 農学部 | 20 | | | | | | | |

21世紀プログラム 26

6+1学部 17募集区分 定員の7.2%

総募集人員 185名

★: センター試験を課さない

21世紀プログラム: 教育の枠組み

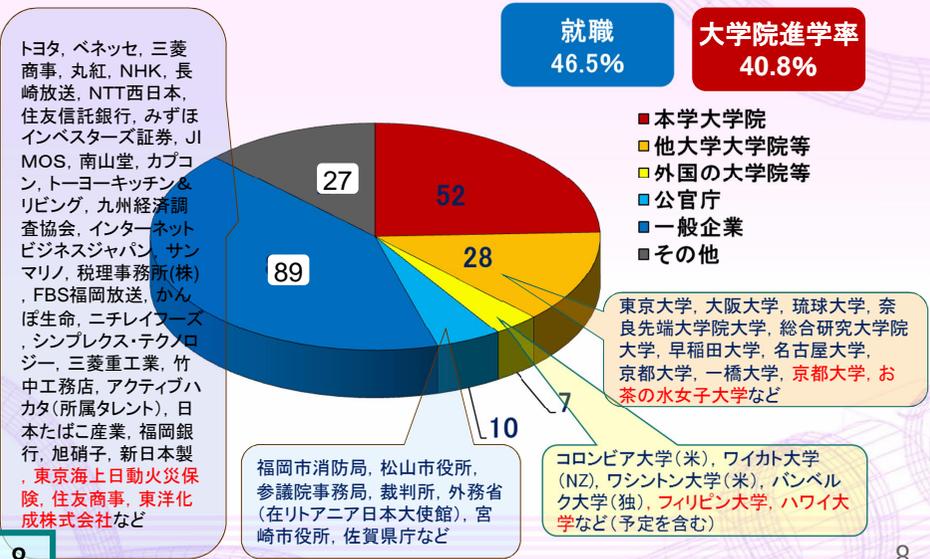
2003年度 文部科学省の「特色ある大学教育支援プログラム」に採択



幅広い教養、表現力、国際性を身につけ、チューターの指導を受けつつ、
いろんな学部の専門を組み合わせで「自分だけの専門」を創る。

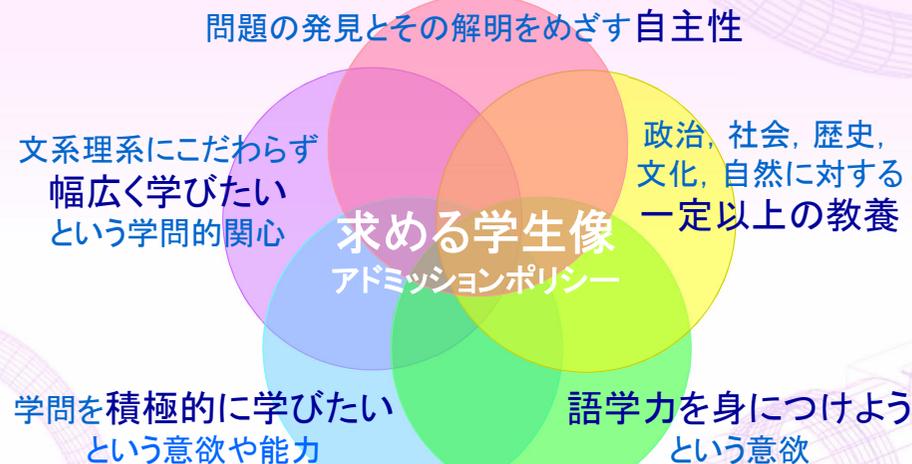
The 21st Century Program 卒業生の進路

卒業した第1期生～第9期生(213名)



| | 入学期 | 募集 | 合格者 | 年度 | 入学者 | 転課程学部 | 交換留学 | 語学研修等 | 卒業者 | うち大学院進学者 |
|-------|---------|----------|----------|---------|----------|--------|------|-------|-----|----------|
| | | | | | | | | | | |
| 在籍 | 1期 | 18 | 20 (5) | 2001 | 20 (5) | 1 (0) | | | | |
| | 2期 | | 22 (6) | 2002 | 22 (6) | 2 (1) | 7 | | | |
| | 3期 | 21 | 19 (5) | 2003 | 19 (5) | 0 (0) | 8 | 20 | | |
| | 4期 | 26 | 25 (5) | 2004 | 25 (5) | 1 (1) | 5 | 8 | 16 | 11 |
| | 5期 | | 30 (12) | 2005 | 30 (12) | 1 (0) | 2 | 4 | 25 | 12 |
| | 6期 | | 27 (7) | 2006 | 26 (7) | 2 (1) | 10 | 5 | 15 | 9 |
| | 7期 | | 27 (9) | 2007 | 26 (8) | 2 (1) | 10 | 2 | 20 | 9 |
| | 8期 | | 27 (10) | 2008 | 27 (10) | 2 (1) | 6 | 4 | 33 | 13 |
| | 9期 | | 28 (7) | 2009 | 27 (7) | 1 (0) | 9 | 4 | 28 | 7 |
| | 10期 | | 27 (6) | 2010 | 27 (6) | 1 (0) | 10 | 6 | 19 | 9 |
| | 11期 | | 25 (8) | 2011 | 25 (8) | 0 (0) | 7 | 8 | 27 | 8 |
| 12期 | 28 (10) | | 2012 | 28 (10) | 0 (0) | 6 | 17 | 30 | 11 | |
| 13期 | 25 (9) | | 2013 | 25 (9) | 1 (0) | 13 | 10 | 24 | 4 | |
| 14期 | 25 (5) | | 2014 | 25 (5) | 0 (0) | 9 | 18 | 24 | 4 | |
| 15期 | 25 (7) | 2015 | 24 (7) | 0 (0) | | | | | | |
| 総計 | | | 380(111) | | 376(110) | 14 (6) | 102 | 106 | 261 | 97 |
| 在籍学生数 | | 103 (31) | | | | | | | | |

(カッコは男子で内数。2015/4/1現在)



| | | |
|-------|--------------------|------------------|
| 願書受付 | 9月下旬 | 9/24(月)~28(金) |
| | 調査書, 志望理由書, 活動歴報告書 | |
| 第1次選抜 | 10月中旬 書類審査 | 10/19(金)頃 1次合格発表 |
| 第2次選抜 | 11月上旬 | |
| 第1日目 | 講義・レポート (3テーマ) | 11/3(土) |
| 第2日目 | グループ討論, 小論文, 個人面接 | 11/4(日) |
| 合格発表 | 11月下旬 | 11/26(月) 2次合格発表 |

選抜の過程が入学後の修学の過程

(日程は13年度のもの)

第1次選抜

- ◆ 出願時提出資料
 - ◆ 志望理由書(2面)
 - 志望する理由、自己の適性や抱負
 - ◆ 調査書等(内申書)
 - ◆ 活動歴報告書(2面): 中学からの活動を記載可
 - 各種活動、表彰、資格等
- ◆ 書類審査
 - ◆ 「AP」や「求める学生像」との合致度合を評価
 - 理念の理解度等
 - ◆ 試験場施設の関係から3倍程度に絞る
(13年度の例では78名。3.0倍)

80名。3.1倍

第2次選抜



第1日目(土曜日)

9:30-11:30 講義1・レポート1 (120分)

12:30-14:30 講義2・レポート2 (120分)

15:00-17:00 講義3・レポート3 (120分)

軸が違う3テーマ
講義:約50分
レポート:約70分

講義や資料に
英語を含むことがある

第2日目(日曜日)

論題は当日朝に提示("予習"を避けるため)

9:00-11:30 グループ討論 (150分)

3つの講義から2つを選んで討論

12:30-17:00 小論文 (270分)、個人面接

15分/人

3つの講義のいずれかに関連するテーマを設定して作成

随時別室で休憩可

| 年度 | 題目 |
|---------------|-------------------------------------------|
| H20 (2008) | 1 大学の社会的機能の変化 |
| | 2 住民の視点から FROM THE NATIVE'S POINT OF VIEW |
| | 3 薬と遺伝子 |
| H21 (2009) | 1 イエズス会士が観た16世紀の日本 |
| | 2 原子力損害賠償法を見直すべきか |
| | 3 作物増収の戦略における植物の機能 |
| H22 (2010) | 1 読むことの意義 |
| | 2 いまどきの「権力」を考える |
| | 3 南極の地球科学と地球環境変動 |
| H23 (2011) | 1 日本における死因究明制度 |
| | 2 おとぎ話とジェンダー |
| | 3 学ぶことと働くこと |
| H24 (2012) | 1 放射線と健康の科学 |
| | 2 歴史 学問と教科の間 |
| | 3 民主主義の根底にあるもの |
| H25 (2013) | 1 「邪馬台国」と考古学 一通説と考古学の間 |
| | 2 独裁体制はいかに維持されるのか |
| | 3 The Wonder of Water (水の不思議) |

直近6年分。
全13年分は
最終ページ。

- ☞ 楽しく受験することができてよかった
- ☞ いろんな方がいてとても楽しかった
- ☞ 心底惚れ込みました。絶対に来たい。
- ☞ 大学の講義を聴けただけでも、受けた甲斐があった...
- ☞ 何の話があるのか興味津々だった
- ☞ もらった振り子の重りの5円玉は合格のお守りに...



The 21st Century Program 評価体制

| | | | | | | | |
|--------|----------------|------|----------------------------|------|------|----------------|------|
| 1次 | 書類審査 | 2次 | 講義1 | 講義2 | 講義3 | | |
| 委員 | ●●●● | A委員 | ●●●● | ●●●● | ●●●● | 他に監督等 5~10名 | |
| 志望理由書 | 全志願者 (112名) | レポート | ●:主担当 全受験生(78名) | | | | |
| 調査書等 | | 小論文 | 選択した受験生(~45名) | | | | |
| 活動歴報告書 | | 2次 | あ | い | う | え | お |
| | | B委員 | ●●●● | ●●●● | ●●●● | ●●●● | ●●●● |
| | | 討論 | ●:文系、●:理系、●:カウンセラー/3名中1名女性 | | | | |
| | | 面接 | 1グループ受験生16名程度 | | | | |

(人数は13年度のもの)

◆ 評価は、A~Dの4段階評価
(活動歴報告書は3段階評価)

第2次選抜 グループ分け(討論、面接)

- ◆ 第1次成績を均等化
右表をベースにし、さらに
- ◆ 男女比が均等
- ◆ 現浪比が均等
- ◆ 地域性が均等
- ◆ 同一高校別グループ
になるように組換え

第1次成績

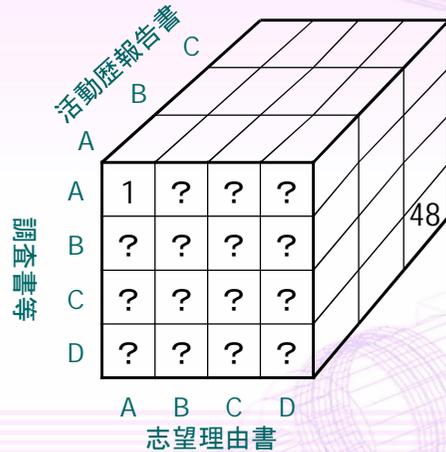
| あ | い | う | え | お |
|-------|----|---------|---------|---------|
| 1 → 2 | 3 | 4 | 5 | |
| | 10 | 9 | 8 | 7 ← 6 |
| | ↓ | 11 → 12 | 13 | 14 |
| | | | 15 | ↓ |
| | | 20 | 19 | 18 |
| | | ↓ | 21 → 22 | 23 |
| | | | | 24 |
| | | | | ↓ |
| | | | | 30 ← 29 |
| | | | | 28 |
| | | | | ↓ |
| | | | | 27 |
| | | | | ↓ |
| | | | | 26 |

多次元マトリックス方式

例: 第1次選抜の順位付け(3次元)

1次:書類審査
4名の委員が各々に
全受験生を評価

- ①志望理由書
 - ②調査書等
 - ③活動歴報告書
- を3次元で評価



17

17

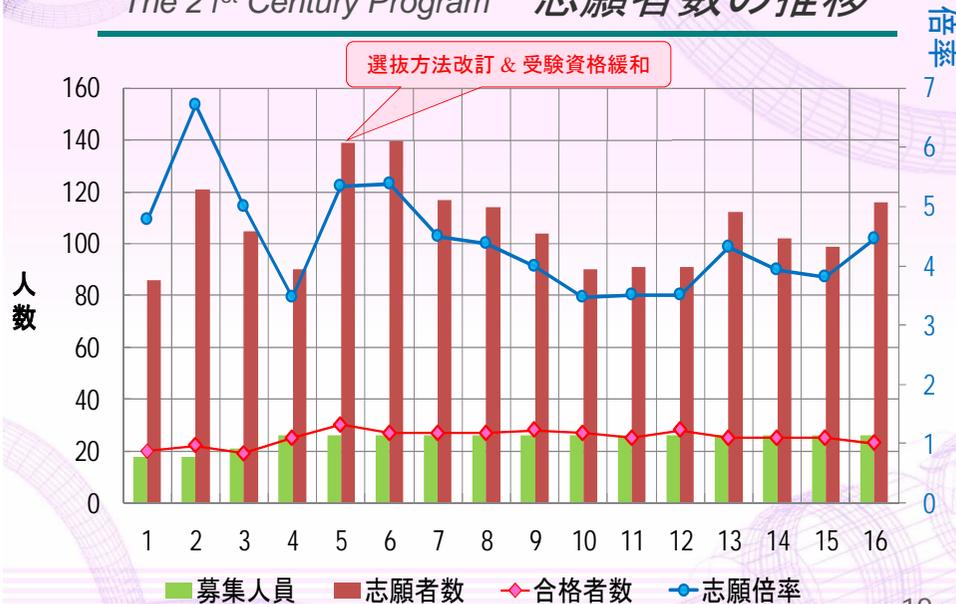
評価方法

- ◆ 評価: A~D (活動歴報告書はA~C)
- ◆ 評価順位: 1位~48位: 直方体のセル
- ◆ 評価(順位)点: 1位~受験者数
 - ◆ 同一順位¹の人数を考慮した順位
- ◆ 合計評価点: 評価者ごとの順位の総和
 - ◆ 値が小さい方が高順位
- ◆ 査定
 - ◆ 選抜に関係した35名程度で行う
 - ◆ 討論・面接時の対応、レポート・小論文の評価
 - ◆ D評価を付けた理由について
 - ◆

18

18

The 21st Century Program 志願者数の推移



19

Ⅱ) お茶の水女子大学 新フンボルト入試 ～ 外部評価委員の視点から～ (1)

- ◆ 【参照】事前閲覧資料: 既にお目通し済みとの前提で
 - ◆ [紹介動画]、[R4募集要項]、[R4プレゼミナール]
 - ◆ 「フンボルト」の名称の由来も
- ◆ [資料]令和4年度情報(最新)
 - ◆ 総合型選抜(新フンボルト入試)・プレゼミナール案内
- U5 https://www.ao.ocha.ac.jp/ao/body/aotop_d/fil/2021information.pdf
- ◆ 総合型選抜(新フンボルト入試)
- U6 <https://www.ao.ocha.ac.jp/ao/>
- ◆ 新フンボルト入試Q&A
- U7 <https://www.ao.ocha.ac.jp/ao/body/d004561.html>

20

Ⅱ) お茶の水女子大学 新フンボルト入試 ～ 外部評価委員の視点から ～ (2)

◆ [資料] AP関係資料URL

◆ 大学教育再生加速プログラム (AP)

U8 ● <https://www.jsps.go.jp/j-ap/>

◆ 選定取組概要: 平成26年度 選定取組

U9 ● https://www.jsps.go.jp/j-ap/sentei_torikumi.html

● 【テーマⅢ (入試改革)】

■ お茶の水女子大、追手門学院大等の各種提出書類

◆ 【蛇足】長崎大学もH26に[テーマⅠ・Ⅱ 複合型]に申請 & 採択

◆ テーマⅠ (アクティブ・ラーニング) / テーマⅡ (学修成果の可視化)

◆ 申請は88機関、採択は21機関(含長崎大学)

◆ 3年間の申請で77機関が採択(テーマⅠ～Ⅴ)



21

Ⅱ) お茶の水女子大学 新フンボルト入試 ～ 外部評価委員の視点から ～ (3)

◆ 理念: 「伸びしろのある学生の選抜」

◆ 21cp の選抜方法も訪問調査されて

◆ 文系と理系で独立に方法を模索 <====> 21cp

◆ 図書館入試は文系側だけ

◆ それぞれの学科で講義・実験を担当

● 今年の例: 文系 5テーマ、理系 4テーマ

◆ 少しずつ変更を加えている

◆ 不断の改良

22

Ⅱ) お茶の水女子大学 新フンボルト入試 ～ 外部評価委員の視点から ～ (4)

◆ プレゼминаールは受験生だけでなく
高校2年生にも開放している。広報としても?

◆ 「高校生の日頃の生活の一環として」

by 安成先生 on 動画

◆ 検討事項

◆ 文系・理系と区別することが妥当なのか?

◆ 毎年テーマを決めて各学科が
それぞれに担当していることの疲労感はないのか?

23

Ⅲ) 『「ゼミナール入試」なるもの』のまとめ(1)

◆ 「ゼミナール入試」: 定義? 試験内容に規定ある?

◆ 大学教育の一端を体験: 講義、ゼミ、レポート等

◆ 聞く、読む、考える、議論する、まとめる、.....

◆ 思考力、表現力、協働性、..... <==== 主体性の評価は?

◆ 「日頃の高校生活」を評価: “対策は不要/困難?”

◆ 何を考えてきた? 大学に何を求めている? その準備状況は?

◆ 高校教育の支援になる? 日頃からの「考える」習慣

◆ 「持ち帰ってもらえるものがある」≠「楽しんでもらえる」?

◆ 「総合大学なら導入・実施すべき入試」

at 21cp外部評価時のコメント

24

Ⅲ) 『「ゼミナール入試」なるもの』のまとめ(2)

- ◆ 関係する教員数・事務職員数も多い
- ◆ 非常に手間がかかる → ◆ 惜しむべきではない
 - ◆ 実施側だけでなく受験側も ◆ “良い”学生の獲得
 - ◆ 準備、委員の選定・確保 ◆ 理念に沿った学生
 - ◆ 評価方法、公平性、..... ◆ 改良を続けながら継続
- ◆ 入試の実施: 学内の人的ネットワークの必要性
- ◆ 1次と2次に相関はあまりない=悪いことではない
 - ◆ “優秀な”受験生の取りこぼしは1次選抜において是非とも避けなければならない
- ◆ 評価方法: 細かなルーブリックは存在しない
 - ◆ 評価値の大まかな頻度等
 - ◆ 「自分が卒論指導したいと思えるか？」

25

Ⅲ) 『「ゼミナール入試」なるもの』のまとめ(3)

- ◆ 「試験」 by 広辞苑 第7版
- ◆ 競争試験: 『多数の志願者の中から優秀な者を選抜するための試験』。一般的に定員あり。
- ◆ 資格試験: 『資格付与の際、それにふさわしい力量を持っているかどうかを調べる試験』。一般的に定員なし。
 - ◆ 大学入試: 入学後の修学に耐えられるかを見極める試験。資格試験的な要素も。
- ◆ AO入試=現 総合型選抜
 - ◆ 選抜側の主観の持ち込みが許容される入試
- ◆ 「公平性」の説明性
 - ◆ 選抜する側の倫理観、道徳観、美学(?)、選別眼が求められる
- ◆ 一例(二例?)の紹介に過ぎない。アイデアを持ち寄って。
 - ◆ 長崎大学らしさ。「長崎大学ナイズ」して導入を。
- ◆ 高校と大学の“より良い”橋渡しを目指して

26

【蛇足】山岸先生のご講演へのコメント(1)

- ◆ 21cpと同様の入試をされておられる
 - ◆ 参考例となるのではないか
- ◆ 大学入試
 - ◆ 「出題範囲」: 高校までの学習指導要領に囚われる必要はない(考え方)
 - 識別力は必要
 - ◆ 「入学後の修学に耐えられるか」を評価
 - ◆ 総合型選抜で定員を厳守する必要はない
 - 不足分は一般入試で補充可
 - APの作り込みの重要性
 - ◆ AO入試(総合型選抜)=主観が許容される試験

27

【蛇足】山岸先生のご講演へのコメント(2)

- ◆ 志望理由書
 - ◆ 高校関係者・保護者の添削が入っているものとして解釈するしかない。逆に覚えてもらえてない生徒って？
 - ◆ APとの整合性を見る
 - ◆ 個人面接(第2次選抜時)で問うてみる
 - ◆ 第1次選抜で魅力的な受験生を逃すのは避けたい
- ◆ 21cpでの事例
 - ◆ 作題開始時期: 4月から & 日頃から
 - ◆ 講義の予行演習あり。委員相互で指摘・修正。
 - ◆ 集団討論の進行: 自分の意見を述べさせる。場を取りまとめる行為は評価しない。

28